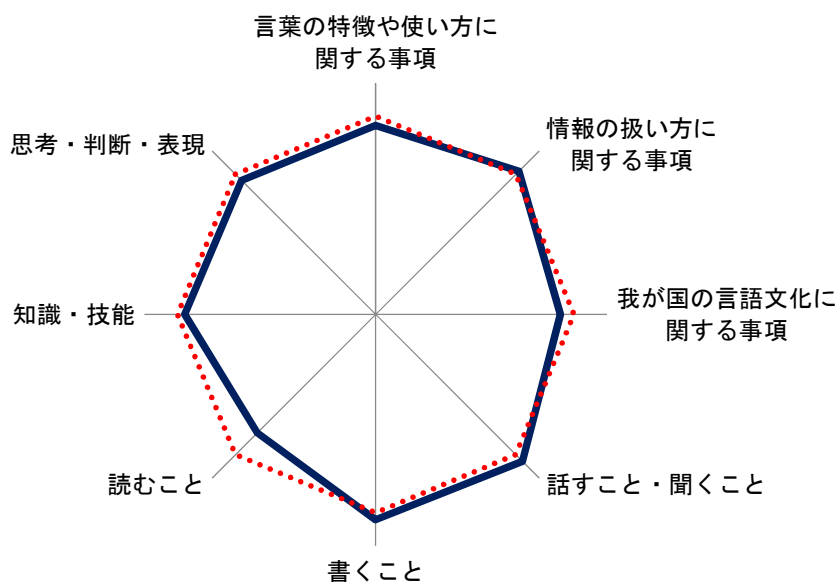


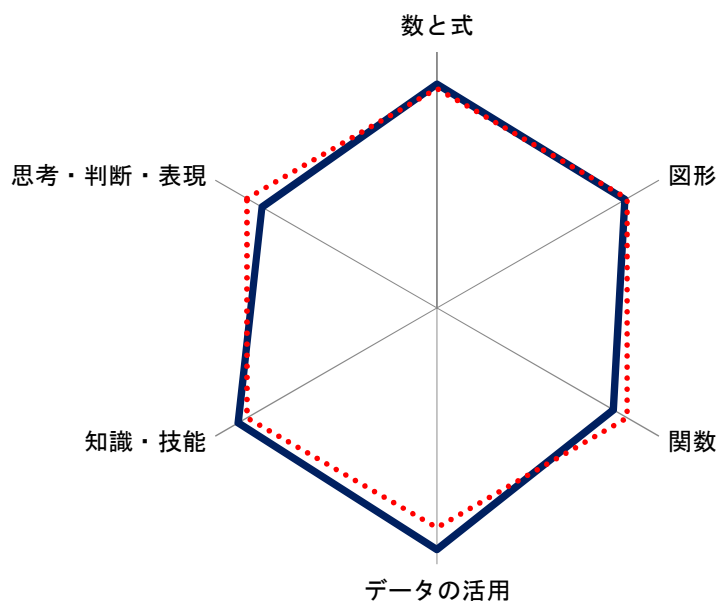
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 今治東
..... 全国平均

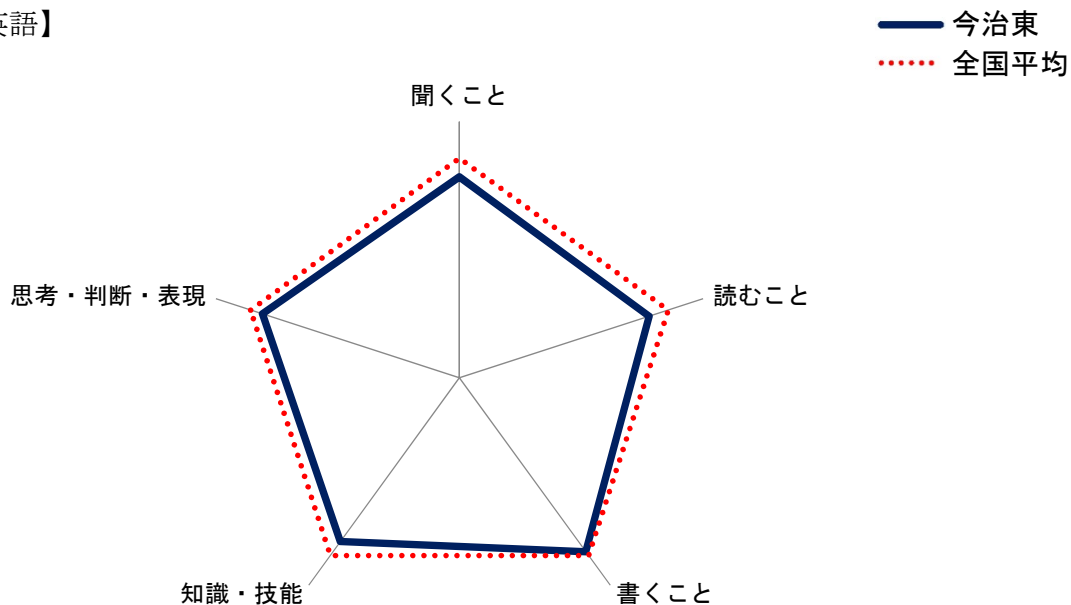


【数学】

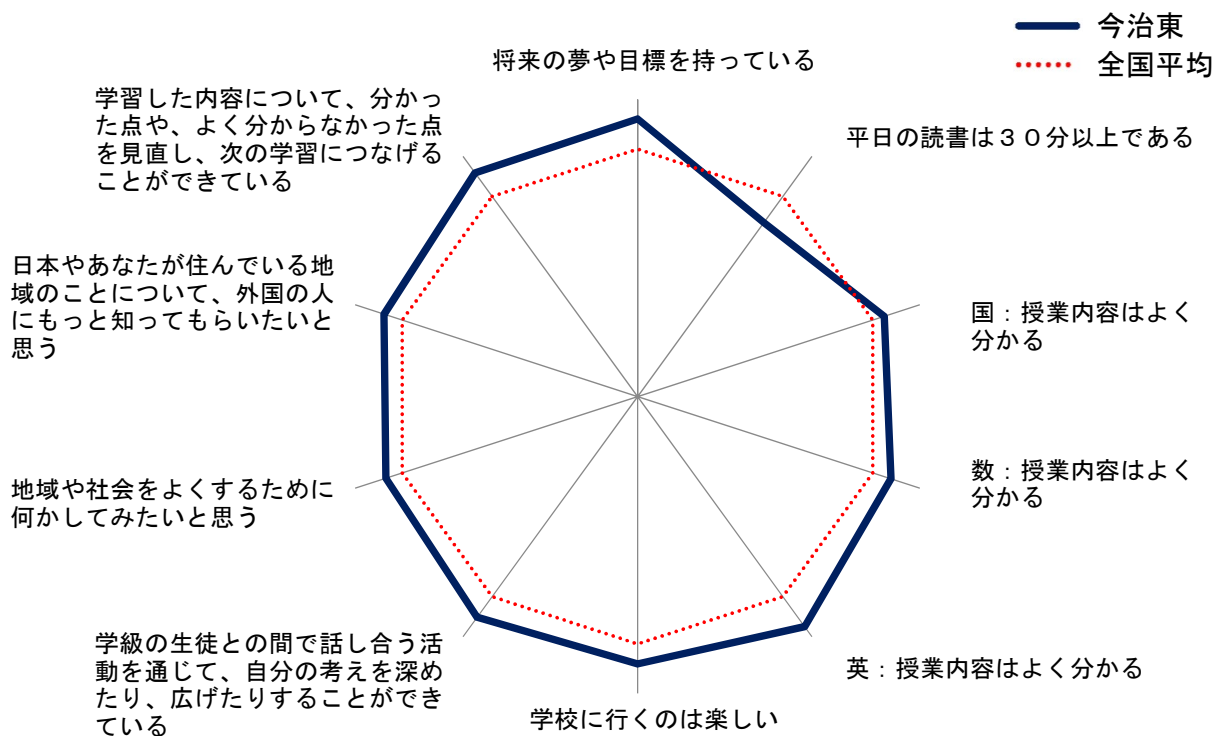


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

【国語】

国語に関する知識及び技能のうち、情報の扱い方に関する技能に関して、比較的正答率が高く、「意見と根拠」「具体と抽象」など、文章に含まれている情報の関係を的確に捉えることができている。

一方で、読書に関する二つの長文を読み、表現の効果や論旨を比較して考える問題や、現代語で書かれた「竹取物語」を古典と比較して、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えたりする問題に課題が見られた。

今後は、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について、考えたり評価したりするような「読むこと」に関する学習の充実を図り、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことで、思考力・判断力・表現力等の向上に努めたい。

【数学】

「数と式」「データの活用」領域の基本的な知識・技能に関する問題については、おおむねできていた。特に「データの活用」領域に関しては、「四分位範囲」の意味の理解度を測る問題において、全国平均正答率を17.8ポイント上回るなど、高い定着率を見せている。箱ひげ図等を用いてデータを整理し、分布の傾向に関して批判的に考察するような実践的な力が身に付いていることが見て取れる。

一方で、「関数」領域に関しては、反比例の理解度を測る問題やグラフから必要な情報を適切に読み取る問題についての正答率が比較的低いなど、課題が見られた。

今後は、身の回りの事象の関数関係に着目し、その特徴を表やグラフを用いて考察し説明し合うような活動を通して、関数関係の理解の向上を図るとともに、そういった数学的活動を通して、数学のよさに気づき、粘り強く考え、数学を生活に生かそうとする態度や思考力・判断力・表現力等の育成に努めたい。

【英語】

文と文との関係を正確に読み取り、文中の空所に入る適切な語を選択する問題や、英文を読んで、事実と筆者の考えを区別する問題はおおむねできていた。

一方で、「聞くこと」に関しては、目的や状況、場面に応じて、必要な情報を正確に聞き取る問題で比較的正答率が低かったり、「書くこと」に関しては、社会的な話題について読んだことに対し、自分の考えとその理由を書く問題の無解答率が比較的高かったりするなど、課題が見られた。

今後は、日常的な話題や社会的な話題など、様々な話題を取り上げて英語でコミュニケーションを行う場面をより広く設定し、必要な情報を判断し、考えを整理した上で、知識や自分の体験と関連付けながら表現する活動を充実させるとともに、英語を用いて主体的にコミュニケーションを図る態度を更に養っていききたい。

【学習や生活の状況】

読書量と国語の「読むこと」の領域が、ともに全国平均を下回っている。読書習慣は一朝一夕に身に付くものではないが、現在行っている「朝読書」を有効に利用していきたい。

一方で、将来の夢や目標をしっかりと持ち、学習した内容を振り返って次の学習につなげようとするなど、充実した学校生活にするために積極的に生活していることが分かる。

また、地域に対する関心が高く、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げて問題解決につなげたりするような実践的な活動を好むことが分かる。生徒が自ら自分の課題を見付け、その解決のために自発的に学習に取り組むことができるよう、3・4年生が課題別に協働して実施している総合的な学習(探究)の時間の充実を図るとともに、実践的なICTの活用を推進していきたい。